



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第2号

令和5年4月12日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆入学式特集◆

校長 山口 鉄也

令和5年4月7日、暖かな春の日差しの中、第40回入学式を迎えることができました。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染防止対策でご来賓を招待できず、体育館の中には新入生とその保護者、および関係職員と在校生の一部のみが参加する形で実施いたしました。在校生の多くは、教室でオンラインの形での参加となりましたが、まるで体育館にいるのと変わらない態度だったと、2・3年生の先生方から報告を受け、大変うれしく思いました。今年も、211名の新入生を迎え、全校で620名のスタートとなりました。そこで、新入生 誓いの言葉、在校生 歓迎のことば、校長式辞をご紹介します。

新入生代表 誓いのことば

暖かな春の訪れとともに、私たちは貝塚中学校の入学式を迎えることができました。校長先生や諸先生方、地域の皆様、先輩方、今日は私たちを温かく迎え、励ましの言葉を下さり、本当にありがとうございます。皆様に見守られ、新しい一歩を踏み出す私たちは、中学校生活への期待で胸がいっぱいです。

小学校では係活動や委員会活動などを通じて1人ではできないことを達成するために「協力すること」を学びました。中学校では新しい教科を学びます。そして、教科ごとに専科の先生がいらっしゃると思います。私たちは目標を持ち、粘り強く意欲的に学習に取り組めます。また、貝塚中学校は、体育祭や合唱コンクール、生徒会活動、部活動なども盛んだと伺いました。それらを通じて新たな友と出会い、礼儀を学び、共に高め合っていきます。

これから始まる中学校生活は希望に満ち溢れています。しかし辛く苦しくなる時もあるかもしれません。そんな時は皆様からいただいた励ましの言葉を思い出し、先生方、先輩方を始め、多くの方々の力をお借りしながら必ず乗り越えます。私たち新入生は、貝塚中学校の規則を守り、貝塚中学校の生徒としての誇りを持ち、実りある中学校生活を送ることを今ここに誓います。

令和5年4月7日 新入生代表 男子生徒



在校生代表 歓迎のことは

桜の花びらが舞い、暖かな春の光が皆さんを祝福してくれているようです。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち在校生は、皆さんの入学を待ちわびていました。皆さんは、今、どのような気持ちですか。中学校生活に希望を持ち、期待で胸を膨らませる気持ちや緊張や不安で胸が押しつぶされそうな気持ちなどで溢れていると思います。私も2年前は、新しい中学校生活にワクワクしながらも、友達や勉強、部活動など、どうなるのかなあと不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、部活動や生徒会で仲間や先輩と過ごしていくうちに楽しいと思える時間が増え、不安はなくなっていきました。皆さんもそのようになってほしいと思います。

では、貝塚中学校について紹介していきたいと思います。まず貝塚中学校は、部活動がとても盛んです。私はサッカー部に所属しており、日々仲間と競い合いながら練習をしています。自分の技術力が向上した時や、仲間と笑い合う時など、部活動を通して充実していると感じます。皆さんも自分のやりたい部活に入部し、先輩達と一緒に汗を流してみてください。その中で目標を持ち、仲間と切磋琢磨する時間は、とても良い経験になり、私の一生の宝となっています。また、貝塚中学校では、合唱コンクールがとても有名です。歌が苦手な人も得意な人も、クラスで手を取り合いながら練習をし、心と歌声が1つになったときの感動をぜひ皆さんも体験してみてください。学習面では、教科ごとに教えてくださる先生方が異なります。どの教科の先生方も優しいため、楽しい授業が受けられます。そして、先生方一人一人が個性的なため、1時間1時間は退屈しません。また年に4回定期テストが行われます。この定期テストでは、日ごろの学習がとても大切になってきます。そのため計画的に勉強を行うようにしましょう。

今不安に思うところがあるとしても、貝塚中学校にはそんな皆さんに寄り添ってくださる先生方や、優しい先輩たちがいます。そして周りを見てください。これから3年間共に過ごしていく仲間たちがいます。だから安心して登校してきてください。これから貝塚中学校で過ごす日々を充実させるためにも、仲間と仲良くいろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。例えば、体育祭や合唱コンクールなどで真剣に取り組んだときに、もしかしたらクラスの中でぶつかることがあると思います。しかしそれを恐れないでください。困難に直面した時こそ成長のチャンスです。そういう場面では、お互いを認め合い高め合えるよう頑張ってください。きっと卒業するときには貝塚中学校で良かったと思えるような日々になっていくでしょう。僕はそれを信じています。これから一緒に学び、美しい思い出を作っていきます。皆さんのこれからの挑戦を応援して歓迎の言葉とさせていただきます。

令和5年4月7日 在校生代表、男子生徒

入学式 校長式辞

春の訪れを感じられる良き日に、令和5年度千葉市立貝塚中学校入学式を、このように挙行できますこと、この上ない喜びと感じます。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来賓の皆様の参列はありません。また、在校生は代表者のみの参加となり、他の生徒はオンラインにて参加をしています。改めて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、今、中学校生活への期待とやる気に満ち溢れていることと思います。ただ、その反面で生活の変化に対する不安もあるのではないのでしょうか。しかし、大丈夫です。貝塚中学校の先生方が側にいます。頼れる3年生、2年生の先輩たちもついています。何か困ったことがあったら、いつでも声をかけてください。新入生の皆さんの中学校生活をみんなで応援します。

本日の入学にあたり、新入生の皆さんに心がけてほしいことを2つお話ししたいと思います。

1つ目は、「人との信頼を深める」ということです。3月に野球のワールドベースボールクラシック(WBC)で日本が優勝を果たしました。日本が優勝することができた大きな理由としてあげられるポイントは、短い時間の中で、互いのコミュニケーションを大切に、信頼できるチームになれたことだと、言われています。安心して過ごせる環境が生活の土台です。互いに協力し、そして、時に競争しながらも、人の個性を認められる関係性を築いていってください。3年間の中で、どうか、友達、先輩・後輩そして先生方との信頼関係を大切にしていってください。

もう1つは、「継続は力」だということです。皆さんは、中学校生活の中で「勉強」「部活動」「行事や委員会活動」などから、多くのことを学びます。ぜひ、「目標」を持ち、時に振り返り、新たな目標を心に秘めて努力をしていくこと。それを続けていってください。そうすれば、必ず大きな成長をとげることができるはずです。

最後になりましたが、新入生の保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本日より大切なお子様をお預かりします。新入生の皆さんが、3年後、それぞれの夢に向かって元気に旅立てるように職員一同、誠心誠意取り組んでいく覚悟です。本校の教育実践に対しまして、地域の皆様とともに、温かいご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

本日から正式に211名の新入生を迎え、千葉市立貝塚中学校の令和5年度がスタートします。全校生徒620名で、創立40周年の節目に、大きな変容をとげている社会に対して、心さわしい第一歩を踏み出せる。そのことを強く願い、式辞といたします。

令和5年4月7日 千葉市立貝塚中学校 校長 山口 鉄也